

豊島政實 四日市大学名誉教授が「音の匠」顕彰

12月6日(水)、トマス・エジソンが蓄音機を発明した日にちなむ「音の日」であるこの日に、豊島政實 四日市大学名誉教授が「音の匠」に顕彰された。「音の匠」とは、音を通じて文化や社会に貢献した人を讃えて、日本のオーディオ・ビジュアル界を牽引してきた日本オーディオ協会が贈る賞だ。豊島名誉教授は、ビクタースタジオ、アビーロードスタジオをはじめ世界各地の250を超えるスタジオ、ホールの音響設計を手掛けており、私たちが耳にする音楽楽曲の多くを生み出す母体を造ってこられた。本学の誇るマルチメディアスタジオも豊島名誉教授の設計によるもので、本学を定年退職後も設計依頼が絶えず、世界を飛び回っていらっしやる。また、同日、豊島名誉教授の薫陶を受けた音響セミナー卒業生の山口雄氏が、レコーディングの現場で活躍する録音エンジニアを表彰する「日本音楽プロ録音賞」最優秀賞を受賞した。山口氏は、本学卒業後ミキサーズ・ラボに入社し、数多くの一流アーティストの作品制作に携わってきた。(受賞作は、最先端ハイレゾリューション・システムをチェックするための最高品質テストディスク。)



くまモンが四日市大学に感謝を伝えるに来校！

11月21日(火)、くまモンが、熊本の被災地支援活動のお礼にと『四日市東日本大震災支援の会』に感謝状を届けるために来校した。四日市大学の学生が中心となって活動している災害支援の団体、『四日市東日本大震災支援の会』は、東北だけでなく、国内各地の災害で活動を行っており、熊本地震の発生の際も、昨年4月より四日市市と協働で支援を続けている。2016年は、5月、7月、9月、11月に、2017年に入ってから、3月、5月、7月、9月、11月に、熊本県西原村にて、避難所や仮設住宅の支援を行ってきた。その支援活動に対し、「くまもとから感謝をプロジェクト！」として、本学にくまモンがお礼を伝える為に来校した。

昼休み、突然現れたくまモンに、会場の学生たちは大興奮。市長との名刺交換、支援の会代表への感謝色紙の贈呈、四日市のマスコットキャラクターである「こにゅうどうくん」との交流、支援活動に参加した学生たちとのハグなど、楽しい時間となった。イベントの様子は、NHK、三重テレビ、中日新聞などで取り上げられた。



「冬のエコフェア 2017」を開催

12月16日(土)、四日市大学にて「冬のエコフェア 2017」を実施した。これは、「食と環境」をテーマに、環境について広く活動発表を公募したもので、三重県環境学習情報センター、(株)東産業、四日市大学の三者による共同主催のイベントで、7月に実施した「夏のエコフェア 2017」の「冬バージョン」として行なわれた。

当日は午前と午後に分かれ、午前中は高校生の活動発表会、午後は一般の方の活動をご報告いただいた。高校生の部では、愛知黎明高校、四日市農芸高校(2チーム)、三重中学校・高校、四日市四郷高校、津商業高校の5校6チームが発表し、ヨシの再生、骨格標本の作成、河川の生態系の調査等、高校生達の調査発表に、会場審査員も感嘆していた。津商業高校は、商業高校ならではの学びを生かし、伝統野菜を地元のお菓子に使用することでブランド力を高め、それをもって種の保存につなげるという実践的な報告で、次々に質問が出ていた。午後の部では本学教員を含めた6組の報告が行われた。

これまでのPick Up Topicsは、ホームページでご覧いただけます。
<http://www.yokkaichi-u.ac.jp/examinee/topic.html>

 文部科学省
地(知)の拠点 Pick Up Topicsには、COC事業における記事が含まれています。

学校法人 暁学園 四日市大学

【発行】入試広報室

〒512-8512 三重県四日市市萱生町1200

TEL:059-365-6711 FAX:059-325-7218

<http://www.yokkaichi-u.ac.jp/>

<http://smile.yokkaichi-u.ac.jp/> (受験生サイト)



世界を見つめ 地域を考える

YOKKAICHI UNIVERSITY
PICK UP TOPICS

建学の精神 人間たれ

2018年1月1日発行【季刊誌】

VOL.

40

P.1・ジョイントセミナー2017に参加
・今年もサンタ電車を運行

P.2・大学キャンパス樹木マップの作成開始
・武本ゼミと千葉ゼミが合同で四日市港を見学
・公害資料館連携フォーラムで学生が発表
・川越ふれあい祭 2017 ボランティア参加

P.3・松井ゼミが川島地区里山フェスタでボランティア
・鶴田ゼミがポスターセッションに参加
・第20回いづみ文化祭のボランティア参加
・就職ガイダンスとスーツ着こなし講座を開催

P.4・豊島政實 四日市大学名誉教授が「音の匠」顕彰
・くまモンが四日市大学に感謝を伝えるに来校！
・「冬のエコフェア 2017」を開催

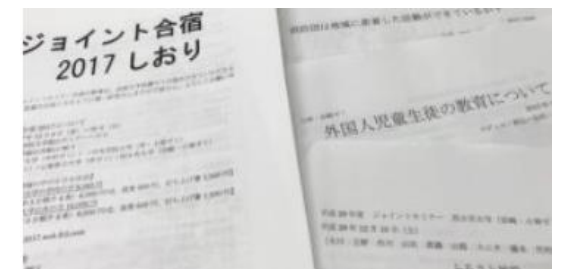
ジョイントセミナー2017に参加

12月8日(金)から10日(日)の3日間、宇都宮大学・中央学院大学・法政大学・山梨県立大学・四日市大学の5大学より、行政学・地方自治系のゼミが集まった研究発表会「ジョイントセミナー」が、中央学院大学の館山セミナーハウスで開催された。毎年恒例となった行事で、各大学より、合計11本の研究が発表された。

本学からは、総合政策学部の岩崎恭典ゼミ・小林慶太郎ゼミの学生による「ふるさと納税」「外国人児童生徒の教育について」「消防団は地域に密着した活動ができているか？」の3本の研究が発表された。

四日市大学は、2015年度、2016年度と準グランプリを獲得していたが、残念ながら今年は、グランプリおよび準グランプリは逃したものの、「ふるさと納税」の発表が、敢闘賞を獲得した。研究発表について意見交換をしたり、打ち上げで共にビンゴを楽しんだり、他大学の学生たちとの交流は、本学の学生たちにとって、良い刺激になったようだ。満足のいく発表が出来ずに感じた悔しい思いは、今後のゼミでの活動や、来年のジョイントセミナーでの研究発表に活かされる事となるであろう。

なお、来年度のジョイントセミナーは、11月30日(木)から12月2日(土)に開催予定で、四日市大学が幹事校を務める予定である。



今年もサンタ電車を運行

12月16日(土)、三岐鉄道北勢線東員駅から、今年も「サンタ電車」が運行された。これは、平成22年度に、地域路線の北勢線を支援する目的で、四日市大学総合政策学部の学生達が三岐鉄道へ提案したことから始まり、同年度の「地域志向科目」として三岐鉄道の全面的な協力の下、毎年行われている人気のイベントだ。8年目となる今年は、サンタ電車仕様にラッピングされた車両が、より賑やかさを増していた。

西桑名駅では、沿線のキャラクター4体がお出迎えとお見送りを担当。東員駅では、県交通政策課のご協力により、松阪市や津市の子供達が作ったツリーが改札口に飾られた。

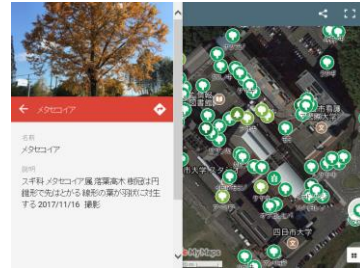
また、広報チラシの裏には、東員町コミュニティバスの無料乗車券をつけ、公共交通機関のさらなる利用を促進するなど、回を追うごとに様々な提案が盛り込まれ、成長するイベントである。乗車客数が推定約2,000人と、今年も大盛況であった。

岩崎恭典学長は、「今は少ないけれど、これから鉄道を利用する人は増えていく。無くすのは簡単だが、存続させておかないと将来お年寄りを中心に移動手段が無くなってしまふ。効果はまだ先になるかもしれないが、次の世代の子供達に電車に乗る楽しさを知ってもらいたい。」と語った。



大学キャンパス樹木マップの作成開始

千葉賢教授（環境情報学部）の担当する環境情報学部自然環境分野の里山里山セミナーの2年生（7名）が、四日市大学のキャンパス内の雑木林の樹木マップ作りを開始した。この活動は里山の環境問題を理解する上で、まずは里山に入り、木々の名前を覚えて愛着を持ち、種別の特徴とともに、同じ種でも各樹木に個性のあること、里山を構成する高木、中低木、低木、下草の関係、落葉樹と常緑樹、陽樹と陰樹の関係などを肌で理解することを目的としている。樹木マップ作りの第1段階として67種、154本のマップを作成し、12月20日現在では、78種、339本となった。ここまでは、判別し易い植栽の樹木を中心に進めてきたが、今後は雑木林に入り、大学キャンパス全体の樹木マップ作りを進めていく。この活動を進めて、学生たちの樹木や野草への知識を増やし、その上で大学外の里山や、鈴鹿山系の樹木（ブナ林等）の調査を行う計画で、里山への孟宗竹林の侵入状況や、孟宗竹林の健全度調査なども行う予定だ。



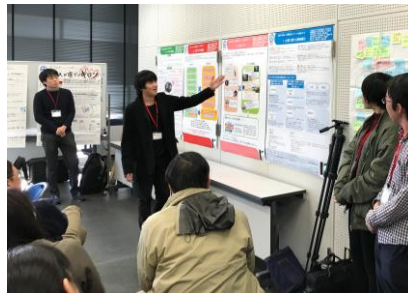
武本ゼミと千葉ゼミが合同で四日市港を見学

11月17日（金）、四日市大学環境情報学部の武本ゼミ・千葉ゼミの学生ら15人が四日市港を見学した。この行事は毎年、この時期に四日市港管理組合に依頼して実施しているものだ。はじめに、ポートビル対岸にある鈴木造船にて、2013年に新造された同組合の調査船「ゆりかもめ」に乗船し、四日市港内を約1時間半かけて、車やコンテナ輸送施設、石炭ヤード、工業塩貯蔵場、LNG（天然ガスを冷却して液化した無色透明の液体）タンクヤードなどの港湾施設を見学した。稲葉町にある明治時代に建設された「潮吹き防波堤」では、港の歴史についての説明を受けた。また、水質調査の実習として北原式採水器を用いた採水方法、透明度の測定、海底のヘドロの採取などを体験した。調査の結果、表層部のCOD（化学的酸素要求量）値は、3mg/Lでやや悪いものであった事などが分かった。帰港してから、ポートビルの14階（うみてらす）にて、映像による四日市港の歴史と現状を学んだ。

公害資料館連携フォーラムで学生が発表

12月15日（金）から17日（日）、大阪市立大学にて、「第5回公害資料館連携フォーラム in 大阪」が開催され、最終日には、四日市大学の岡田勘汰さん（環境情報学部2年）をはじめ、5人のユースによる特別ポスターセッションが行われた。今回の発表は、(公社)日本環境教育フォーラムの「公害×SDGs 事前勉強会」プログラムに参加し、大阪市西淀川区の大気汚染を現地で学んだ大学生・大学院生によるものだ。

岡田さんは、神長唯教授（総合政策学部）の担当する「四日市公害論」の履修をきっかけに、公害の経験や教訓をいかに伝え続けるべきかを考えるようになったとのことだ。5人の中で唯一、公害について授業で学んでいた岡田さんは、より多くの人に興味・関心をもってもらうためにはどうすればよいか、「ユース世代からの提案」と題したポスター発表のとりまとめ段階から中心として活躍した。



川越ふれあい祭 2017 ボランティア参加

11月3日（金）、川越町主催の「川越ふれあいまつり 2017」に、本学の平野智也さん（環境情報学部2年）がボランティアとして参加した。このイベントは地域の方の交流を目的としたもので、様々なブース展示に加え、大正琴、和太鼓の演奏等も行われた。当日は、小学生から大人まで、地域住民の皆様が多数来場した。学生のボランティア内容は、「ふくしクエスト」ブースのダンジョンでのモンスター役であった。ボランティアには高校生の他、近隣の大学生も参加しており、「同年代の人とも交流できて、とても良かった。昨年は参加できなかったことが、とても残念に思うほどです。」との感想を述べていた。

松井ゼミが川島地区里山フェスタでボランティア

11月26日（日）、四日市大学総合政策学部の松井ゼミと川島地区との連携関係において、最初に取り組んだ「里山フェスタ」が、4年目となる今年も行なわれた。毎年学生は入れ替わるものの、「イベントに来る子供達をゲームで楽しませること」を目的として一貫して行なっている。今年度は始まる前に、地区の里山保全グループと一緒に、里山の竹林整備作業を行なった。また、イベントでは、ペットボトルに水を入れて並べるサッカーボーリング、ストラックアウト、○×クイズ、じゃんけんなどを、グループに分かれて担当し、見事、今年も子供達を笑顔にすることができた。休憩時間は地区の方々と火を囲んで談笑し、焼き芋を分け合いながら、楽しいひと時を過ごした。



鶴田ゼミがポスターセッションに参加

11月26日（日）、三重大学COC+シンポジウム「地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの要請～明日（みらい）のファンタジスタの現在（いま）～」のポスターセッションとして、三重大学の三翠ホールにて、四日市大学の鶴田利恵教授（総合政策学部）ゼミの2年生が活動報告を行った。鶴田ゼミ生は現在、「学生潜入レポ！！～人にやさしい三重の企業～」と題して地元企業を訪問して記事を書き、雑誌やHPで社会に発信するという活動を四日市市内のNPO（「ワーク・スタイル・デザイン」と「UD ほっとねっと」）とのコラボで進めている。訪問するのは、いずれも「男女ともに働きやすい環境づくり」や「高齢者や障害者が楽しめる商品開発や施設の改良」に取り組んでいる企業だ。三重大学や鈴鹿大学など県内の他大学も出展するポスターセッションでは、シンポジウムに参加した大学・行政・企業の方々からさまざまな質問が寄せられた。ゼミ生達は、自分たちが得た知見を熱く語っていた。



第20回いずみ文化祭のボランティア参加

11月5日（日）、員弁郡東員町にある「社会福祉法人いずみ」主催の「第20回いずみ文化祭」において本学学生がボランティアコンサートを行った。参加したのは、本学の軽音楽部所属である田中颯真さん（総合政策学部2年）と長谷川燮さん（環境情報学部2年）だ。

当日は少し寒かったものの、周辺住民の方や施設を利用される方が大変多く参加されていた。学生は、聴衆の温かい拍手にのせて、ゆずの「夏色」などを熱唱した。予定していた曲を歌い終えた後、アンコールが2回も起こり、学生も「最後は上手く盛り上げられて形になってよかった」とホッとした様子だった。

就職ガイダンスとスーツ着こなし講座を開催

11月21日（火）、1・2・3年生を対象とした第8回就職ガイダンスを開催し、内定を獲得した4年生5名らが、自身の就職活動体験談を語った。就職活動の準備を早目に行なう大切さ、説明会に積極的に参加することの重要性、面接の体験談など、とても参考になる先輩の話に、参加学生は熱心に聞き入っていた。4年生の話は身近でわかりやすく、「やりたい仕事のことをどう考えていくかの参考になった。」との感想もあった。

また、11月30日（木）には、株式会社AOKI 法人部の田村氏を講師に、「スーツ着こなし講座」を開催した。就職活動の基本となるスーツスタイルは、いろいろなルールやマナーがあり、とてもわかりやすく講義していただいた。スーツ着用で出席していた学生達は、「正しく着られているようで、何も分かっていなかった」、「スーツ選びのポイントを知ることができた」などと感想を述べていた。

